

被災3県の雇用情勢

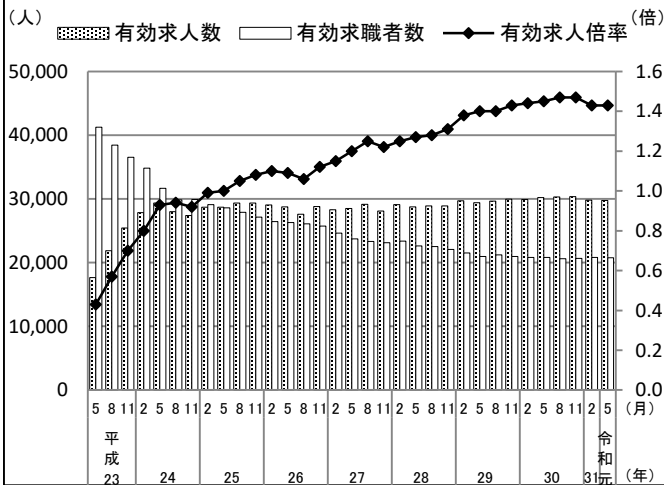
〔概況〕

- 被災地の雇用情勢は、復興需要等による有効求人数の増加、人口減少、就職決定等による有効求職者の減少により、有効求人倍率が3県ともに1倍以上となっており、雇用者数は震災前の水準まで回復しているが、沿岸部では、有効求人倍率は高いものの、人口減少等により、雇用者数が震災前の水準まで回復していない地域や産業もある。
- 雇用のミスマッチを解消し、被災者に寄り添った就労支援として、産業政策と一体となった雇用の創出を図るとともに、求職者の状況を踏まえた的確な職業紹介に努める。また、地域の基幹産業である食料品製造業（水産加工業）等について求人の充足に努める。

1 被災3県の有効求人倍率等の動向

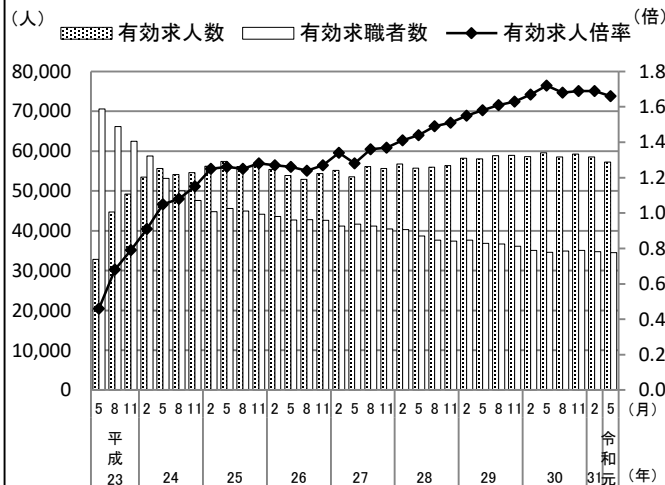
岩手県

有効求人倍率
〔元年5月〕 1.43
〔23年2月〕 0.51



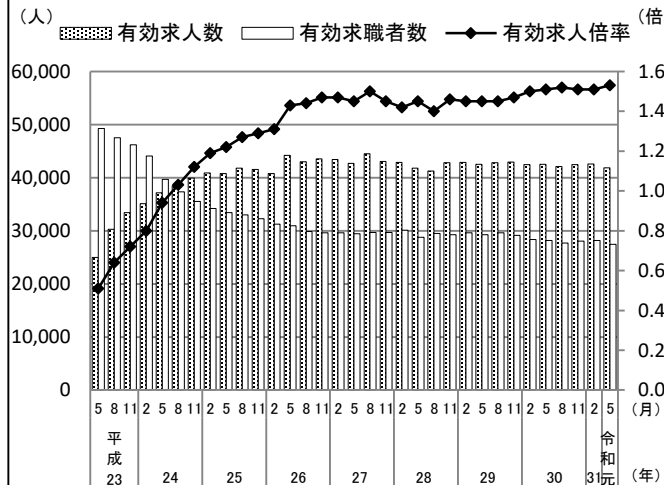
宮城県

有効求人倍率
〔元年5月〕 1.66
〔23年2月〕 0.52



福島県

有効求人倍率
〔元年5月〕 1.53
〔23年2月〕 0.50



※ 全国の有効求人倍率 元年5月：1.62倍 (23年2月：0.62倍)

2 安定所別の動向(沿岸部) ※単位:有効求人倍率(倍)、有効求人数・有効求職者数(人)。前年差、9年前との差は、(ポイント)。前年比、9年前との比は(%)。

安定所	有効求人倍率				有効求人数				有効求職者数			
	元年5月		30年5月	22年5月	元年5月		30年5月	22年5月	元年5月		30年5月	22年5月
	前年差	9年前との差			前年比	9年前との比			前年比	9年前との比		
岩手県												
久慈	1.05		1.19	0.20	1,100		1,163	426	1,047		980	2,131
	▲ 0.14	0.85			▲ 5.4	158.2			6.8	▲ 50.9		
宮古	1.08		1.23	0.40	1,456		1,639	903	1,352		1,336	2,272
	▲ 0.15	0.68			▲ 11.2	61.2			1.2	▲ 40.5		
釜石	1.02		1.40	0.30	1,343		1,762	640	1,315		1,256	2,159
	▲ 0.38	0.72			▲ 23.8	109.8			4.7	▲ 39.1		
大船渡	1.47		1.44	0.41	1,516		1,665	593	1,030		1,160	1,435
	0.03	1.06			▲ 8.9	155.6			▲ 11.2	▲ 28.2		
宮城県												
気仙沼	1.61		1.54	0.39	1,991		2,025	777	1,236		1,319	1,984
	0.07	1.22			▲ 1.7	156.2			▲ 6.3	▲ 37.7		
石巻	1.64		1.62	0.33	5,187		4,980	1,669	3,164		3,079	5,090
	0.02	1.31			4.2	210.8			2.8	▲ 37.8		
塩釜	0.94		0.92	0.31	2,645		2,661	1,366	2,811		2,899	4,392
	0.02	0.63			▲ 0.6	93.6			▲ 3.0	▲ 36.0		
仙台	1.67		1.79	0.39	36,335		39,088	14,183	21,806		21,848	36,664
	▲ 0.12	1.28			▲ 7.0	156.2			▲ 0.2	▲ 40.5		
福島県												
相双	2.11		2.08	0.45	3,984		4,014	1,829	1,892		1,927	4,082
	0.03	1.66			▲ 0.7	117.8			▲ 1.8	▲ 53.7		
いわき	1.50		1.47	0.42	8,527		8,655	3,829	5,694		5,895	9,189
	0.03	1.08			▲ 1.5	122.7			▲ 3.4	▲ 38.0		
全国												
全国	1.48		1.47	0.44	2,696,256		2,753,348	1,278,273	1,817,353		1,871,398	2,920,230
	0.01	1.04			▲ 2.1	110.9			▲ 2.9	▲ 37.8		